

合金鋼 (Alloy Steel) 価格動向： 地域別分析、供給動向、成長予測



世界の [合金鋼 \(Alloy Steel\)](#) 市場は、鉄鉱石と鉄スクラップの価格、エネルギー価格、自動車および建設部門の需要、世界の工業製造活動の影響を受け、2025年から2026年初頭にかけて価格変動を経験しました。自動車部品、建設機械、石油・ガスインフラ、重機械、航空宇宙、鉄道、産業用工具などに広く使用されている合金鋼は、原材料の入手可能性、貿易政策、鉄鋼生産量、下流調達パターンに非常に敏感でした。価格動向は、フェロクロム、フェロマンガン、ニッケル、モリブデン、バナジウムなどのフェロアロイの動向、および世界の粗鋼生産量と工業需要状況の変化に密接に連動していました。

北米合金鋼市場分析

北米、特に米国では、合金鋼の価格は、産業需要の変化、原材料価格の変動、エネルギー市場の変動により、2025年から2026年初頭にかけてまちまちの動きを示した。

2026年第1四半期中：

- 米国合金鋼価格指数は前期比で上昇した
- 鉄くずとフェロアロイのコストが生産コストを押し上げた
- 自動車およびインフラ需要の高まりにより、調達活動が活発化した。
- 2026年初頭、国内の製鉄所の稼働率は上昇した。

2026年第1四半期の主要市場牽引要因：

- 建設・インフラ投資が鉄鋼消費量を改善させた。
- 電気料金と天然ガス料金の高騰により、運営コストが増加した。
- 自動車製造業の回復が薄板鋼板の需要を支えた。

- サプライチェーンの正常化により、地域貨物輸送が改善された。
- 輸入競争は、供給業者の価格戦略に影響を与えた。

需要元:

- 自動車メーカー
- 建設およびインフラプロジェクト
- 機械・産業機器メーカー
- 石油・ガスエンジニアリング企業は、北米全域で合金鋼の基準消費量を維持し続けた。

2025年第4四半期中:

- 産業調達活動の低下により、合金鋼の価格は下落した。
- 在庫過剰がサプライヤーの利益率を圧迫した
- 米国の一部地域で製造業の活動が鈍化した。
- 輸入競争は、国内における価格決定力を低下させる。

2025年第3四半期中:

- スクラップとフェロアロイの価格上昇により、価格は緩やかに上昇した。
- インフラ関連の需要増加により鉄鋼調達が改善
- エネルギー価格の変動により製鉄コストが増加した
- 供給不安を背景に、買い手は短期的な調達を増やした。

しかし:

- 輸出需要の低迷が積極的な価格回復を抑制した。
- 在庫処分によりスポット市場の活動が減少
- 製造業の成長鈍化は、川下消費のパターンに影響を与えた。

北米合金鋼市場の見通しは、インフラ投資と原材料費の上昇に支えられ、2026年に向けて引き続き中程度の堅調さを維持する。

アジア太平洋地域合金鋼市場分析

アジア太平洋地域は、2025年から2026年初頭にかけて、合金鋼の世界的な生産・消費地域として引き続き支配的な地位を占め、その中心は主に中国とインドであった。

中国では:

- 合金鋼の価格は2025年を通してまちまちの動きを見せた。
- 不動産セクターの低迷が鉄鋼需要に圧力をかけた
- フェロアロイと鉄鉱石の価格変動は生産経済に影響を与えた。
- 輸出競争は、サプライヤーの価格戦略に影響を与えた。

アジア太平洋地域における主要な市場動向:

- 2025年の期間中、中国の鉄鋼輸出は増加した。
- 政府の景気刺激策がインフラ関連の需要を支えた
- 鉄鉱石と原料炭の価格は大きく変動した。
- 一部の産業分野において、製造業の活動が改善した。

インドでは：

- インフラ整備および鉄道プロジェクトが鉄鋼調達活動を支えた。
- 自動車製造業の成長により、合金鋼の消費量が増加した。
- 建設部門の需要は比較的安定していた。
- 電力費と物流費の上昇により、生産コストが上昇した。

2025年第4四半期中：

- 中国の合金鋼価格は、供給過剰のため軟化した。
- 不動産セクターの低迷により、工業用鉄鋼の需要が減少した。
- 主要生産拠点全体で蓄積された鉄鋼在庫
- 輸出志向型の製粉所は、価格競争力を高めた。

2025年第3四半期中：

- 鉄鉱石とフェオアロイの価格上昇により、価格は緩やかに上昇した。
- インフラ投資刺激策により調達活動が改善した
- 季節的な建設需要が地域の鉄鋼消費を支えた。
- 運賃および輸送費の上昇により、配送価格が上昇した。

しかし：

- 鉄鋼の過剰生産能力が継続することで、供給者の価格決定力が制限された。
- 輸出マージンの低下がアジアの鉄鋼メーカーに圧力をかけた
- 買い手はますます慎重な在庫管理戦略を維持するようになった。

アジア太平洋地域の合金鋼市場の見通しは、2026年に向けて依然として均衡しており、価格はインフラ整備の動向、フェオアロイのコスト、輸出需要によって左右されると予想される。

欧州合金鋼市場分析

2025年、欧州ではエネルギーコストの上昇、製造業活動の低迷、産業需要パターンの変化などにより、合金鋼の価格動向が不安定になった。

ドイツ、イタリア、そして西ヨーロッパ全域において：

- 合金鋼の価格は2025年第4四半期の一部期間で下落した。
- 電気料金と天然ガス料金の高騰が製鉄コストを押し上げた。
- 工業生産活動は比較的低調なままだった。
- 自動車生産の減速は、川下需要に影響を与えた。

欧州市場の主要な推進要因：

- エネルギー市場の変動は鉄鋼生産の経済性に大きな影響を与えた。
- 建設活動の低下により、長尺鋼材の需要が減少した。
- 輸入競争により国内サプライヤーの利益率が圧迫された。
- グリーン鉄鋼への移行投資により、運用コストが増加した。
- 自動車および機械部門は、基準値通りの消費を維持した。

2026年第1四半期中：

- 合金鋼の価格は前期比で緩やかに上昇した。
- 供給量の減少は地域的な価格感を改善させた。
- 原材料費の高騰により、生産コストが上昇した。
- インフラ整備と防衛関連の調達が必要を支えた。

2025年第3四半期中：

- 鉄鋼価格は緩やかな上昇傾向を示した。
- フェロクロムとニッケルの価格が上昇した。
- 物流および輸送費の増加により、配送コストが増加しました。
- 在庫削減により、迅速な貨物供給が可能になった。

しかし：

- 建設活動の低迷が、力強い市場回復を阻害した。
- 工業生産の低迷により調達活動が減少した
- 購入者は保守的な購買戦略を採用した。

欧州合金鋼市場の見通しは、供給規律と生産コストの上昇に支えられ、2026年に向けて慎重ながらも安定した状態を維持すると予想される。

ChemAnalystJapanから合金鋼 (Alloy Steel)のリアルタイム価格を入手：
<https://www.analystjapan.com/Pricing-data/alloy-steel-6901>

グローバルサプライチェーンと市場動向

世界の合金鋼市場は、鉄鉱石、鉄スクラップ、フェロアロイ原料、エネルギー価格、工業生産需要、国際貿易状況に大きく左右される状況が続いている。

世界の主要市場動向：

- フェロアロイと原材料の価格変動は、2025年の鉄鋼生産コストに大きな影響を与えた。
- エネルギー価格の変動は、世界の製鉄業の経済状況に影響を与えた。
- アジアの鉄鋼メーカー間で輸出競争が激化した。
- インフラ整備と自動車需要が工業用鉄鋼の消費を支えた。
- 輸送費と物流費は、国際鉄鋼貿易の競争力に影響を与えた。

合金鋼は、以下の分野で広く使用され続けた。

- 自動車および輸送機器
- 建設およびインフラプロジェクト
- 石油・ガスパイプライン
- 産業機械および重機
- 航空宇宙と鉄道
- エンジニアリングおよび製造分野への応用。

産業部門とインフラ部門は、長期的な市場需要を引き続き支えた。

- インフラ投資プログラムにより鉄鋼消費量が増加
- 自動車生産の回復は合金鋼の調達を支えた。
- 産業機械製造業は下流需要を支えている
- 再生可能エネルギーおよびエンジニアリングプロジェクトは、特殊鋼の用途を支えた。

サプライチェーンの状況も価格設定に大きな影響を与えた。

- 鉄鉱石と鉄くずの流通は生産経済に影響を与えた。
- フェロアロイの供給状況は合金鋼の利益率に影響を与えた。
- 貨物輸送の混乱により輸出が困難になった
- 光熱費と人件費の増加により、世界的に営業費用が増加した。

合金鋼価格に影響を与える主な要因

1. 鉄鉱石とフェロアロイのコスト

鉄鉱石、鉄くず、ニッケル、クロム、マンガン、モリブデンは、依然として重要な生産投入物である。

- 原料価格の変動は製鉄業の経済性に直接影響を与える。
- フェロアロイの入手可能性は、サプライヤーの価格戦略に影響を与える。

2. 建設およびインフラ需要

需要元:

- インフラプロジェクト
- 商業建築
- 交通工学
- 産業機械製造業は、引き続き世界の合金鋼消費を牽引している。

3. 自動車および製造業の活動

自動車および産業製造業は、以下の分野に大きな影響を与えます。

- 平鋼および特殊鋼の調達
- エンジニアリング鋼材の消費量
- 生産計画と在庫管理。

4. エネルギーおよび物流コスト

交通費と光熱費は引き続き以下の点に影響を与えている。

- 鉄鋼生産の経済性
- 輸出競争力
- サプライヤーの営業利益率。

5. 世界貿易と在庫水準

国際貿易情勢は以下に大きな影響を与える。

- 地域別鉄鋼価格ベンチマーク
- サプライヤーとの交渉における影響力
- スポット市場での調達活動

市場見通し

世界の合金鋼市場は、以下の要因に支えられ、2026年まで中程度の堅調さを維持すると予想されます。

- インフラ投資の伸び
- 自動車製造業の回復
- 安定した産業機械需要
- エンジニアリングおよびエネルギー分野における特殊鋼の用途拡大。

しかし、市場参加者は引き続き以下の点を監視している。

- 鉄鉱石およびフェロアロイ価格の変動
- エネルギーおよび輸送費
- 世界の建設および製造業の活動
- アジアの鉄鋼メーカー間の輸出競争
- 環境規制とグリーン鋼への移行コスト。

潜在的な上昇リスクには以下が含まれます。

- 原材料費の高騰
- インフラ需要の高まり
- フェロアロイに影響を与える供給途絶
- エネルギー価格の高騰は生産コストの増加につながる。

潜在的な下振れリスクには以下が含まれます。

- 建設活動の低迷
- 世界的な鉄鋼生産過剰が続く
- 工業製造業の成長鈍化
- 輸出価格競争圧力。

製造業者、流通業者、調達チームにとって、調達戦略はますます以下の点に重点を置くようになっている。

- 原材料費のモニタリング
- サプライヤーの多様化
- 在庫最適化
- エネルギーコスト管理
- 長期調達契約および貿易リスク評価

総じて、合金鋼は自動車、建設、エンジニアリング、航空宇宙、インフラストラクチャーといった分野において、今後も重要な工業材料であり続けるだろう。その価格は、原材料の経済状況、工業生産の需要、そして世界の鉄鋼貿易の動向と密接に連動している。

ANALYST JAPAN

Call +1 (332) 258- 6602

1-2-3 Manpukuji, Asao-ku, Kawasaki 215-0004 Japan

Website: <https://www.analystjapan.com>

Email: sales@analystjapan.com